

# 人文科学研究所研究叢書

## 57.『愛の技法』

2013年3月15日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格2,600円（税別）

ISBN 978-4-8057-5342-2

まえがき	
第一章 ルネサンスにおける友愛のポリティクス —シェクスピアと同世代の政治劇に読む友情の曖昧さ	米谷 郁子
第二章 「お家物」か「人情的小説」か、それが問題だ。 —宇田川文海と『ロミオとジュリエット』	近藤 弘幸
第三章 エリザベス・ギヤスケルの『北と南』をクィアする	大田 美和
第四章 ヘロデから見た『サロメ』の世界	森岡 実穂
第五章 「友人」と「親族」の狭間で —エリザベス・ボウエンの初期小説に見るクィアな小説空間	長島 佐恵子
第六章 南部美人という伝説 —キャサリン・アン・ポーターの「昔の人たち」	坂本 美枝
第七章 喪失にあって語るということ —セジウィックの「白めがね」と アイデンティフィケーションをめぐるアンビバレンス	清水 晶子
索引	